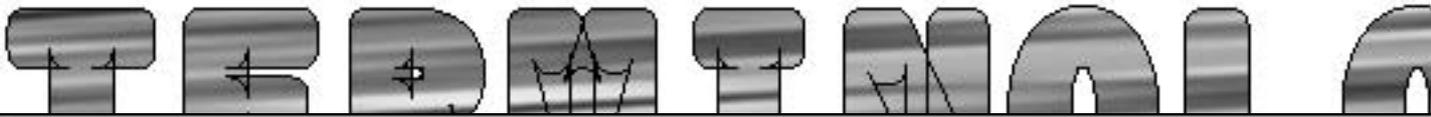


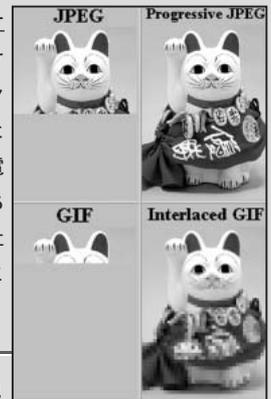
# TERMINOLOGY of Internet



■ **ネットスケープナビゲーター( Netscape Navigator )**  
 米イリノイ大学でモザイクを開発していたメンバーが米ネットスケープコミュニケーションズ社( Netscape Communications Corporation )に移籍し、1993年に開発したWWW ブラウザ。その機能の高さ、また評価版を無償配布するという巧みなマーケティング戦略によって、現在では約70パーセントのユーザーがネットスケープを使用していると言われている。1995年10月に発表されたバージョン2.0には、Javaのインタープリター、電子メールの送受信、暗号化、インラインプラグインなど、数多くの新機能が組み込まれており、ブラウザの域を越えて、インターネットに対する総合的なインターフェイスを提供している。ネットスケープを使用することによって必要に応じてアプレットを入手し、ブラウザ上で表計算ソフトやワープロソフトを実行することができるので、ハードウェアやOSの種類にしばられないコンピューティング環境の実現も近いと言える。「ネットワークコンピュータ」という概念も、ネットスケープの出現によるところが大きい。

■ **プログレッシブJPEG【Progressive ジェイベグ】**

JPEGとはカラーの静止画像を圧縮伸張する方式の1つであるが、その新しいバリエーション。プログレッシブJPEGでは、画像を上から順に表示するのではなく、ぼやけた状態から徐々にくっきりした画像に修整しながら表示する。このため全体のイメージがすぐわかり、ネットサーフィン時のイライラを解消できることから、Web上の画像ファイルの圧縮方式としてよく使用されている。同様の効果が得られる圧縮方式としては、インターレースジフ(interlaced GIF)があるが、プログレッシブJPEGのほうが高画質であり、ダウンロードに要する時間も短い。これらの方式で圧縮された画像をブラウザで表示するには、各ファイル形式に対応した表示プログラム(ビューアー)が必要であり、ヘルパーアプリケーションとしてあらかじめ設定しておかなければならない(ネットスケープではインラインプラグインで処理するために不要)。JPEGとは、ISO(国際標準化機構)とITU-TS(電気通信標準化セクター)の合同委員会であるJoint Photographic Experts Group(静止画の合同専門家グループ)の略称であり、これが方式名としてそのまま使われている。



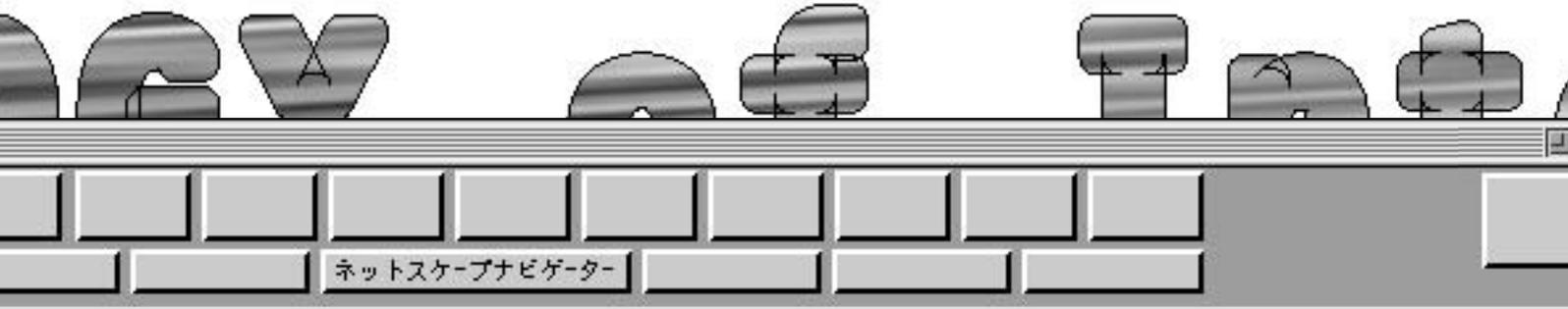
▶ 同一時間での画像表示状況

■ **ブラウザ( browser )**

WWWサーバーに蓄積されている情報を手元のコンピュータ画面に表示するWWWクライアントプログラム。モザイク(Mosaic)やネットスケープナビゲーターがよく知られているが、最近ではマイクロソフト社がインターネットエクスプローラーをこの分野に投入した。当初はHTML(HyperText Markup Language; ハイパーテキストマークアップ言語)で記述された文書の表示をその特徴としていたため、ハイパーテキストブラウザと呼ぶこともあった。現在では、VRML(Virtual Reality Modeling Language)などによる3次元画像も含めたマルチメディア情報も取り扱えるようになり、ブラウザと呼ぶことが多い。情報を表示する機能にとどまらず、電子メールの送受信機能なども提供し始めていることから、実体と呼称との間に差が生じている。例えば、米ネットスケープコミュニケーションズ社のブラウザは商品名に合わせてナビゲーターと呼ばれているが、同社副社長のマーク・アンドリーセン氏によれば、その理由は単にブラウズする以外の機能もあるためとのことである。ブラウザとは、もともとデータベースやファイルの内容を表示するプログラムのことを指していたことから、インターネット上のリソースを表示するプログラムを総称している場合もある。「閲覧ソフトウェア」という表記も見かけられるが、ブラウズ(browse)の「拾い読みすること」という意味に沿えば、「縦覧ソフトウェア」とするのが正しい。

今回はプログラム関係の用語を中心に解説しました。ご意見やご要望をお待ちしています。

E-mail to : [ip-term@impress.co.jp](mailto:ip-term@impress.co.jp)



### Java【ジャヴァ】

米サン・マイクロシステムズ社が開発したオブジェクト指向のプログラミング言語。C++によく似ている。Javaで記述されたアプレットは、Javaコンパイラによってバイトコードに変換され、HTMLを拡張したタグでJavaのバイトコードにコンパイルされたファイル名を指定する。この文書はWWWサーバー上に置かれるが、HotJavaで読み込んだのち、ブラウザ内のインタープリターによって解釈され実行される。Javaのソースコードはバイトコードにコンパイルされるため、特定のオペレーティングシステムやCPUに依存することはない。

### HotJava【ホットジャヴァ】

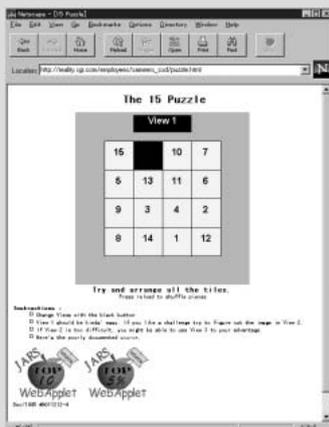
米サン・マイクロシステムズ社が開発したWWWブラウザで、Java言語で記述されたアプリケーションプログラム（アプレット）を実行する。従来のブラウザでは文字や画像を「表示」することしかできなかったが、HotJavaではWWWサーバーからアプレットを読み込み、ブラウザの画面でアニメーションを動かしたり、株価情報をリアルタイムで表示したり、さまざまな「処理」を行うことができる。

### ヘルパーアプリケーション( helper application )

インターネットの各ウェブサイトには、マルチメディア情報（静止画、動画、音声など）がさまざまなファイル形式（MPEG、JPEGなど）で格納されているが、ブラウザで表示できないものもあり、それらを補助的に表示するために用意されているアプリケーションのこと。QuickTimeの動画を再生するプレイヤーなどがこれにあたる。ブラウザで表示できない形式のファイルを表示するには、それに対応するプログラムを入手し、ヘルパーアプリケーションとしてブラウザに設定する必要がある。このように、ブラウザと表示プログラムを分離して取り扱うことにより、新しいファイル形式の出現などにも柔軟に対処することができる。単にヘルパーと呼ぶこともあり、多くはフリーウェアやシェアウェアで提供されている。

### インラインプラグイン( inline plug-in )

WWWサーバー上の文書には、文字だけではなくマルチメディア情報も含まれている。これらをネットスケープナビゲーターで表示させるために、米ネットスケープコミュニケーションズ社が提唱しているプラグイン機能。それぞれのファイル形式に対応したプラグインモジュールをネットスケープナビゲーターに組み込み、各種のファイルをネットスケープのブラウザ内で表示させるという仕組みになっている。対応するプラグインモジュールを導入すると、どのような形式のデータでも別のウィンドウを開くことなく、ネットスケープのウィンドウ内で表示することができる。プラグインモジュールが用意されていれば、ヘルパーアプリケーションは不要になる。アドビ社はアcrobat（Adobe Acrobat）用の「アンバー」、マクromedia社はディレクター（Director）用の「ショックウェブ」といったように、各社で専用のプラグインを開発している。



◀アプレットを利用したパズル

### アプレット( applet, applet )

本来は小さなアプリケーションプログラムのことを意味するが、インターネットではJavaで記述されたプログラムを指すことが多い。アプレットは、HotJavaやネットスケープ2.0などJava言語のインタープリターが組み込まれたブラウザ内で通常のアプリケーションと同じように実行される。applicationとletの混成語。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)